

運輸事業振興助成交付金制度の現状と課題

～トラック運送事業者の明るい未来に向けて～

先月号では交付金制度と大阪府の交付額について解説しました。大阪府トラック協会の事業は、減額に伴って縮小や自己資金の持ち出しを余儀なくされています。

今回は、交付金の使い道について説明をしていきます。

1. 交付金の使い道は？

平成23年、運輸事業振興助成交付金が法制化され、各自治体から都道府県のトラック協会への交付は努力義務とされ、使途も明記されました。しかし、大阪府は独自に「大阪府運輸事業振興助成補助金交付要綱」を策定し、要綱にある事業以外には使えないという厳しいルールを設けました。さらに、大阪府は「努力はしている」として、法で定められた計算式に基づいた金額を交付していません。

では、国(法律)と大阪府が定める事業を比較してみましょう。下表のとおり国(法律)が定める事業に対して、大阪府が補助対象とする事業が少ないことは一目瞭然です！

	国	大阪府
1	安全の確保に関する事業	交通安全対策に関する事業
2	サービスの改善及び向上に関する事業	環境対策に関する事業
3	環境の保全に関する事業	府民の利便性の向上に資する事業
4	適正化に関する事業	緊急輸送体制の整備に関する事業
5	共同利用に供する施設の設置又は運営に関する事業	運輸事業者が交通安全対策及び環境対策に取り組むための経営基盤の強化に資する研修その他の事業であって、知事が必要と認めるもの
6	震災その他の災害に際し必要な物資を運送するための体制整備に関する事業	
7	経営の安定化に寄与する事業	
8	全国を単位とする一般社団法人の行う①～⑦の事業に要する資金の出捐を行う事業	
9	国土交通大臣が総務大臣に協議して定めるもの	

国と大阪府の対象事業比較表

2. 大阪府が認めていない事業とは？

前回ご紹介した中央出捐金(約1億3,485万円/令和5年度実績)のほか、**トラックフェスタ**(約717万円/同)、**ドライバーコンテスト**(約154万円/同)、**チャレンジコンテスト**(約90万円/同)、さらには**児童絵画コンクール**(約85万円/同)の開催費用など、多岐にわたります。これらの事業は、業界内だけでなく、大阪府民の安全に直結する重要な活動です。しかし、大阪府の独自のルールにより、補助対象事業となっておらず、大阪府トラック協会が**自己資金**で行っています。特に見逃せないのが、「**健康診断事業**」です。

3. 「健康診断事業」とは？

トラックドライバーからは、次のような切実な声が寄せられています。「**仮眠をとる余裕もなく、疲れでふらつきながら運転しなければならない**」・「**トイレや水分補給さえもできない**」…

これらは過重労働やストレス、不規則な睡眠、栄養の偏った食生活が常態化している現状を示しています。体調不良を抱えながら運転を続ければ、最悪の場合、大事故や命を落とすリスクが伴います。トラックドライバーの健康管理は、事故防止における最重要課題の一つなのです。(図1参照)

大阪府トラック協会は、府内各所で移動健康診断を実施し、**自己資金**で受診料1,000円の補助を行っています。令和5年度の移動健康診断事業の決算額は約2,400万円に達しましたが、大阪府はこの事業を**補助対象外**としています。

中小規模の事業者が99%を占めるトラック運送業界は、厳しい経営環境に直面しており、定期健康診断のコストが大きな負担となっています。そのため、他産業と比べてトラックドライバーの健康診断の受診率は低いままでした。この現状を受け、平成25年4月、国土交通省は「**受診率向上のために定期健康診断に交付金を活用する**」ことを認めました。その結果、トラックドライバーの健康診断受診率は年々増加しています。

しかし、ドライバーの健康診断で異常が見つかる割合は他産業よりも高く(図2参照)、健康に起因する事故の件数も依然として高止まりしています。

4. 大阪府が対象外にする理由とは？

大阪府が定期健康診断事業を補助対象外にしている理由として「**健康診断の受診は企業の義務**」と説明しています。しかし、他の府県では交付金を活用して受診率が改善している中、大阪府のトラックドライバーはその恩恵を受けていません。このままでは、大阪府が府民の安全を軽視していると批判されても仕方ありません。

私たちは、この不平等にどう立ち向かうべきなのでしょう。次回来月号で、いよいよ最終回です。

★ 連載企画「運輸事業振興助成交付金制度の現状と課題」への

ご意見・ご感想等ございましたら、こちらのQRコードからお願いします。



図1：健康起因事故の発生状況の推移 (出典 全ト協)

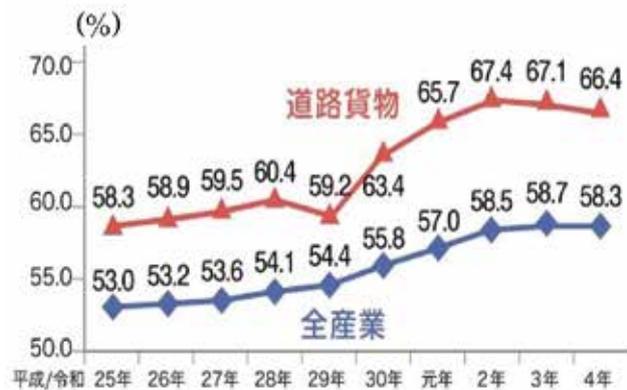


図2：定期健康診断の有所見率の推移 (出典 全ト協)